

## 生物学 2 (生物学)

1 年次 後学期	授業科目責任者: 鈴木 久仁博 (教養学 生物学)		
学習の目標 (GIO)	生命現象を理解するために基礎的な生命科学の考え方と発展的な知識を身につける。 生物学 1 の総論的学習をふまえて、「歯科生物学」を副題としてさらに踏込んだ学習をする。 医療人として歯科医学を学んでいくための生物学の基礎的な知識を身につける。		
授業担当者	鈴木久仁博 (教養学 生物学) 林 一彦 (社会歯科学 比較歯科学)		
教科書	生物学入門 (石川統 編, 東京化学同人)		
参考図書	授業で紹介する。 高等学校で使用した図説 (フォトサイエンス生物図録など) を持参するのも良い。 図書館を積極的に利用して欲しい。		
実習器材	-		
評価方法 (EV)	次の項目について総合的に評価する。 1) 定期試験の成績 2) 平常試験の成績や提出物および受講の積極性		
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科領域に関連するテーマを広く扱う。 授業項目に関連する校外授業が課せられる場合は、別途資料を配布する。 授業内容を理解するために、前学期の「生物学 1」で学習した基礎知識が重要であり、さらに、毎回の理解の積み重ねが大切である。自分で考え、授業には積極的な態度で臨むよう心掛けて欲しい。		
日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月27日(木) 2時間	歯科生物学概論	準備学習項目: ヒトの歯式を答えられる。講義: 口腔の特徴を説明できる。 歯の特徴を説明できる。	鈴木久仁博
10月11日(木) 2時間	現生動物の口腔 (歯牙)	準備学習項目: 歯の構造を説明できる。講義: 社会動物の歯の構造を説明できる。 食性と歯の関係を説明できる。	林一彦
10月18日(木) 2時間	現生動物の口腔 (顎)	準備学習項目: 顎の構造を説明できる。講義: 社会動物の顎の構造を説明できる。 食性と顎の関係を説明できる。	同上
10月25日(木) 2時間	比較口腔解剖 (ヒトとの比較について)	準備学習項目: ヒトの歯の構造を説明できる。講義: ヒトの口腔との差異を説明できる。 ヒトとの比較の可能性を説明できる。	同上
11月1日(木) 2時間	動物実験ガイダンス	動物実験動物に必要な知識と法規的な心得を身につける。	同上
11月8日(木) 2時間	歯科のモデル動物 (その特性)	準備学習項目: マウスの歯式を答えられる。講義: モデル動物の歴史を説明できる。 口腔領域の特徴を説明できる。	同上
11月15日(木) 2時間	社会動物の口腔領域 (疾患を含む)	準備学習項目: 食性と口腔の関係を説明できる。講義: 社会動物の生活環境と疾患の関係を説明できる。	同上
11月22日(木) 2時間	哺乳類の口腔領域	準備学習項目: 哺乳類の特徴を説明できる。講義: 各種哺乳動物の歯の構造を説明できる。 食性と歯の関係を説明できる。	同上
11月29日(木) 2時間	動物と感染の問題	準備学習項目: 感染症を列挙できる。講義: 動物と感染症の関係を説明できる。	同上
12月6日(木) 2時間	進化と系統 (概論)	準備学習項目: 食性による歯の構造の違いを説明できる。講義: 系統発生からみた歯の構造を説明できる。 系統発生と食性との関係を説明できる。	林一彦 鈴木久仁博
12月13日(木) 2時間	始祖鳥の問題	準備学習項目: 鳥類の特徴を説明できる。講義: 歯を持たない動物を説明できる。 歯の消失過程と遺残の問題を説明できる。	同上
12月20日(木) 2時間	脊椎動物の系統	準備学習項目: 脊椎動物の分類を説明できる。講義: 脊椎動物の進化過程を説明できる。 化石と歯の関係を説明できる。	林一彦 鈴木久仁博
1月10日(木) 2時間	哺乳動物の臼歯分化と顎運動	準備学習項目: 無脊椎動物の分類を説明できる。講義: 無脊椎動物の口腔の構造を説明できる。 食性と口腔の関係を説明できる。	鈴木久仁博
1月17日(木) 2時間	哺乳動物動物の系統と歯の分化	準備学習項目: 無脊椎動物の分類を説明できる。講義: 無脊椎動物の進化過程を説明できる。 発生と口腔の関係を説明できる。	同上
1月24日(木) 2時間	歯科生物学の展望	準備学習項目: 脊椎動物の歯を説明できる。講義: ヒトと動物の歯の関連性を説明できる。 生物学の口腔領域における重要性を説明できる。	鈴木久仁博 林一彦